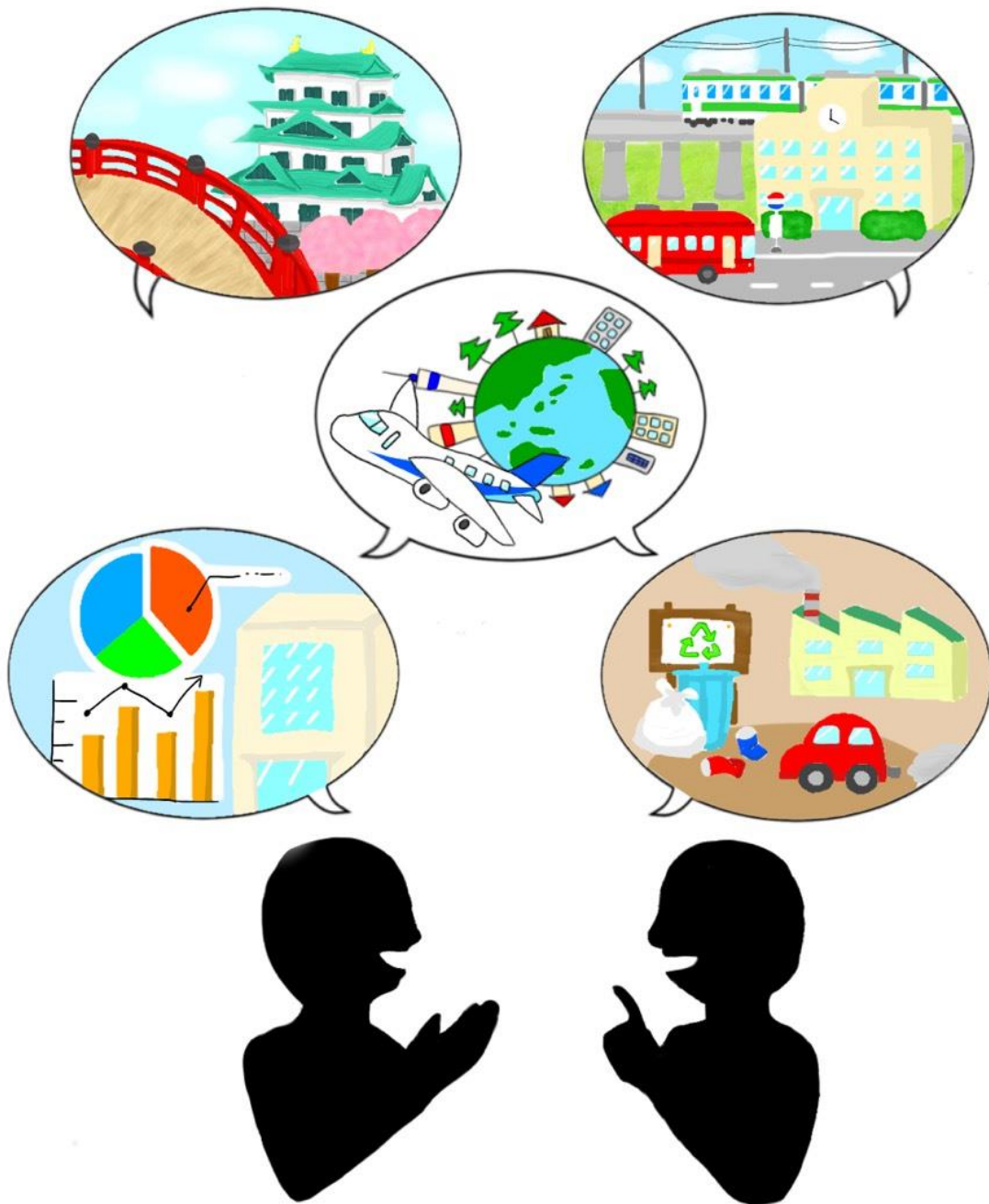


人環のすすめ

～未来と向き合う第一歩～



2021 年度 オープンキャンパス
法政大学人間環境学部企画 作成



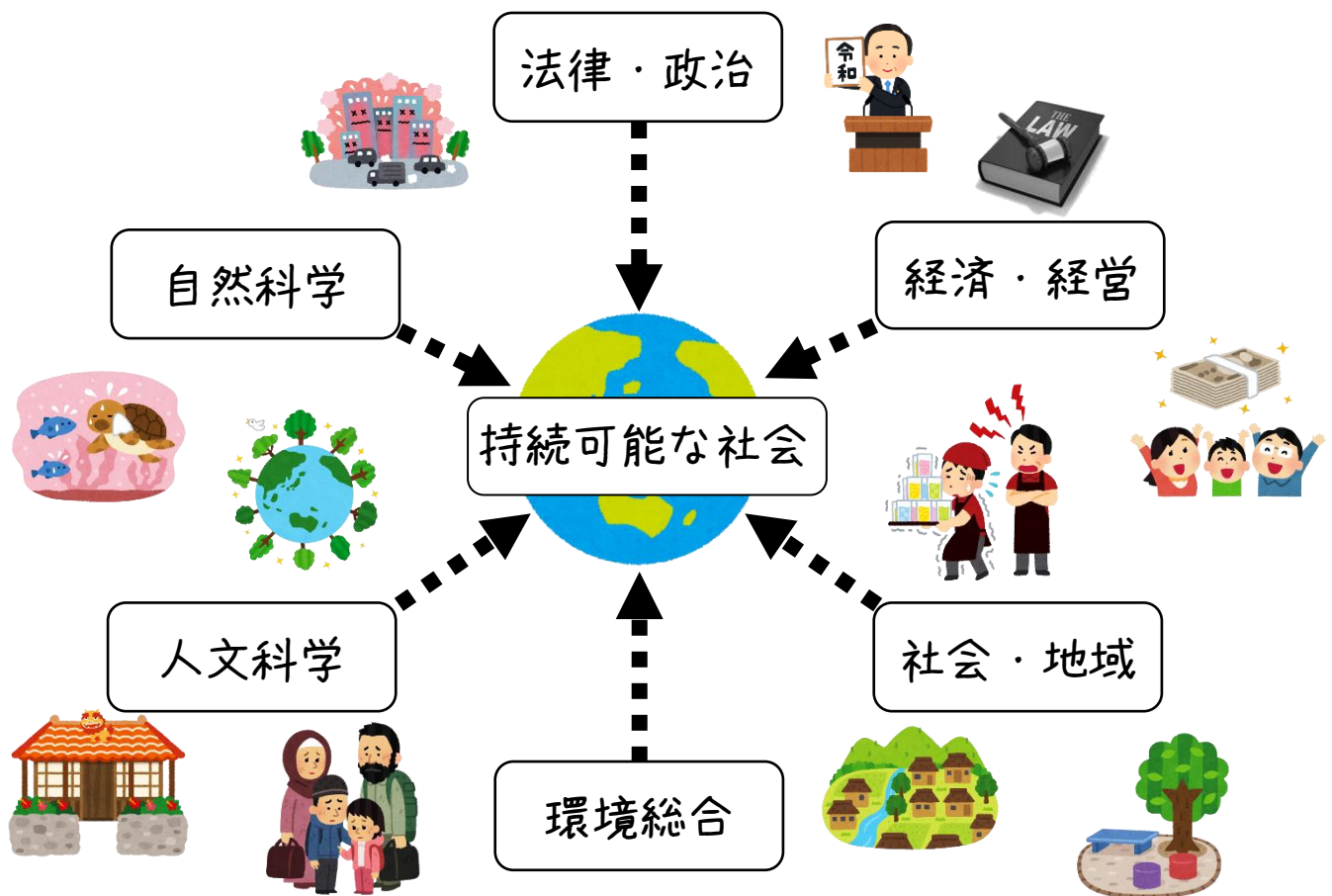
人環って??	P.2
持続可能な社会と人環の学び	P.3
人環の学びと SDGs	P.4
コースを選ぶまで	P.5
5つのコース	P.6~10
人環の特色ある授業	P.11~20
人環生の1週間	P.21, 22
受験体験談	P.23~25
人環生の将来	P.26
人環生の軌跡	P.27, 28
Q & A	P.29
人環生に聞いてみた!	P.30
あなたの興味はどのコース?	P.31
応援メッセージ 	P.32



「人環」って??

「人環」とは「人間環境学部」の略称です。人環では「人間と環境が調和・共存できる持続可能な社会の構築」を学部の大きなテーマとして掲げています。簡単に言うと、「100年先に生きる子どもたちも笑顔で暮らせる社会を創造するために、私たちはいま何ができるか考える」ということです。現在、世界各国で環境・経済・社会などの分野において、複雑な問題が発生しています。それらの諸問題の解決や社会のあり方を問うために、「持続可能な社会」を考えることが必要なのです。

人環が学びの対象としている環境について考えるには、自然科学などの理系分野はもちろん、法律学・経済学・地域研究などの社会科学や哲学や歴史学といった人文科学などの文系分野の知識も必要です。複雑な要素が絡み合う環境問題について、人環では下図のように様々な学問分野からアプローチしています。



～人環で学ぶということ～

人環は、法政大学の15学部の学びが凝縮された学部



多角的な視点を養うことができる！
＝社会で起こる諸問題の解決に
必要となる視点

つまり

人環では将来役立つ実践的な学びができる！

持続可能な社会と人環の学び

人環では持続可能な社会の構築に向けて、主に5つの学問分野からアプローチしています。近年注目されている「海洋プラスチックごみ」の問題について、人環生の視点で一緒に考えてみましょう。



【海洋プラスチックごみ問題とは？】

プラスチックは手軽で耐久性があり、私たちの生活には欠かせないものとなっている。しかし、捨てられたものは河川などから流れてほとんどが海に行き着く。既に世界の海に存在しているといわれるプラスチックごみは、合計で1億5,000万トン。そこへ少なくとも年間800万トン（重さにして、ジェット機5万機相当）が、新たに流入していると推定されている。

【抱えている問題】

😞プラスチックごみをそのままにすると生物にはどんな被害があるの？

自然科学

- ・海の生物が誤飲し、体内に溜まってしまう。
- ・マイクロプラスチックは化学物質を吸着して運んでしまうので、体外に排出されづらい。
- 溜まった有害物質は食物連鎖により濃くなっていく（生物濃縮）ので、魚を食べる人間や他の生物にも健康被害が発生する可能性がある。



😞私たちの普段の生活にも影響が…

- ・漂流したプラスチックごみが海岸に溜まると、景観被害が生まれる。
- 観光や漁業などにも影響を及ぼし、今までの伝統が廃れてしまったり、生活に支障をきたしたりする恐れがある。

人文科学
社会・地域

【解決に向けて】

😊世界ではどのような話し合いが行われているの？

- ・2018年6月にカナダで開催されたG7（主要7カ国首脳会議）では、プラスチックごみによる海洋汚染問題について各国の対策を促す「海洋プラスチック憲章」が採択された。
- 日本は国内法が整備されていないという理由でこの憲章への署名を見送ったが、2021年6月に「プラスチック資源循環促進法」が国会で成立された。
- プラスチック使用製品の設計から廃棄物処理に至るまでのライフサイクル全般であらゆる主体（個人・事業者・自治体など）におけるプラスチック資源循環の取組を促進する目的がある。



法律・政治

😊普段の生活からはどんなことが意識できるかな？

- ・地域のルールに従ってごみの分別を行う。
- ・買い物の際にはレジ袋をもらわない。
- レジ袋が有料化してから、スーパーでは辞退率が57%から80%に上昇した。
- コンビニでは23%から75%に！
- ・企業の取り組みにも注目してみる。
- 紙パッケージ・植物由来のフィルムなど、消費者も環境に配慮したモノの選び方をしよう！



社会・地域
経済・経営





人環の学びと SDGs



近年注目を浴びている“SDGs（持続可能な開発目標）”を知っていますか？
人環生がどのような視点から環境について学んでいるのか、SDGs と照らし合わせて探ってみました！

【SDGs とは】

「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称です。2015 年 9 月の国連サミットで採択され、国連加盟 193 か国が 2016 年から 2030 年の 15 年間で達成するために掲げられました。

17 の大きな目標と、それらを達成するための具体的な 169 のターゲットで構成されています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための 17 の目標



2 年 あおば

私は身近な環境問題としてフードロスに興味を持っています、ゼミで研究を行っています。フードロスの問題は廃棄物を減らすだけではなく、食品流通の変化や普段の買い物を見直すことも解決につながります。どんな環境問題も、自分たちの暮らしに直結することを実感しています。

環境教育論の授業で、途上国にトイレを寄付したり、正しいトイレの使い方を教えたりする取り組みを行っている日本企業の話を知りました。世界には、適切でない場所で排泄をしていることが原因で命を落としている人もいます。衛生面での教育や、習慣を浸透させるというアプローチも有効だと学びました。誰一人取り残さない社会をつくるっていくために、世界全体が協力していく必要があるのだと思いました。



3 年 みきの



3 年 さく

私は、時代と共に変化している家族の在り方について考えたいと思い、地域福祉や市民社会という視点から学んでいます。労働環境の変化や人々の考え方の変化は、地域社会にも様々な影響を。持続可能な地域社会にしていくためには、市民と自治体との連携も重要だと考えています。

複数の目標を掲げて持続可能な社会をつくるっていくという SDGs の考え方は、人環の学びと重なる部分があります。興味を持った方は是非調べてみてください！

コースを選ぶまで

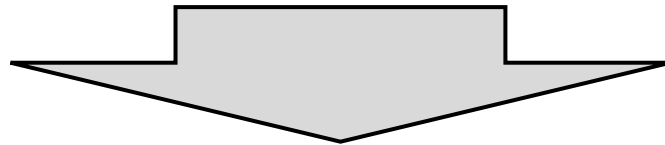
人環では、1年次に学部生全員が履修するフレッシュマン科目という授業があります。
コースを選ぶことで、自分の学びの方向性を決め、深めることに繋がります。

1年次

☆人間環境学への招待 1年次春学期に履修する学部必修科目

【内容】

- ・人環で学ぶことができる内容と魅力について、専門の異なる学部教員が交代で講義する。
- ・多様な科目をどのように選択しながら学んでいくのか、コース制の意義を理解する。
⇒自分の興味分野・学びのテーマを見つけられる！



☆基礎演習 1年次秋学期に履修する学部必修科目

【内容】

- ・文献や資料の検索方法、プレゼンテーションの仕方やレジュメ(授業の要点をまとめたもの)の作成方法、論文の書き方などの基礎的な実習を行う。
⇒2年次から所属できる研究会※で使うスキルを身につけることができる！
- ・20人程度の少人数のクラスで、指導教員それぞれの専門分野の視点から人環の学問に触れ、新たな興味関心を持つことに繋げる。 ※研究会…指導教員のもと、より専門的な研究を行うゼミナール。

2～4年次

☆コース制度

- ・2年次より、全員が下記の5つのコースのいずれかを選択する。
⇒選択したコースに関連が深い授業を履修することで、自分の興味・関心に沿った分野を深く学ぶことができる。(他のコースの授業を受けることも可能。)
- ・選択するコースに関わらず、全コースのベースとなる科目も一定数以上履修することが定められている。

◎コース制は学生一人ひとりが自分の専門性を意識する、「学びの軸」の役割を果たす！



サステイナブル
経済・経営



ローカル・
サステイナビリティ



グローバル・
サステイナビリティ



人間文化



環境サイエンス

詳しくは、次のページへGO！！

5つのコース

サステイナブル経済・経営コース



2年 えりりん

環境を軸に経済・経営を学びます。日本経済や国際経済、企業経営などの基礎的な知識から、環境に配慮した企業の取り組み、CSR（企業の社会的責任）の動向などを学びます。持続可能な市場経済を実現するために必要な考え方と知識を備え、社会に貢献する人材の育成を目指します。



このコースを選んだ理由は？

元々、経済学部や経営学部の学びに興味がありました。特に、人間環境学部では、持続可能な社会ということに着目するので、さらに先進的な経済・経営の学びができると思い、選びました。

お気に入りの授業を教えてください！

授業：現代企業論

はせがわなおや
教員：長谷川直哉先生

株式会社や企業経営のあり方について学びました。経済・経営学への関心が強い人に1番オススメしたい授業です！

☆長谷川ゼミ☆担当教員：はせがわなおや 長谷川直哉先生

テーマ：「SDGs時代に社会から選ばれる企業とは何か」

【内容】

不景気である日本で倒産する企業が増える中、何十年後も生き残る持続可能な企業とはこういった企業なのかを日経STOCKリーグ※という大会を通して学びます。※学校教育の場における投資学習の1つのツールとして企画されたコンテンツ形式の金融・経済教育プログラム。

【私が感じるゼミの魅力】

就職活動の時にどういった視点で企業選びをしていけばいいのか、2年生の時点で学ぶことができるのは非常に魅力的だと思います。また、ゼミに対してのモチベーションが高い人たちがとても多いゼミなので、自分からもっと勉強しなければいけないという気持ちになります。私自身、社会問題の解決と経済活動の結びつきについて、高校時代から興味があったので、興味のある学びを深められる環境があって充実しています。



ローカル・サステナビリティコース



ローカルなフィールド体験をベースに、グローバルな視点も掛け合わせることで持続可能な地域社会に貢献する実践的な知と構想力を有する人材の育成を目指します。廃棄物や公害などの環境問題だけでなく、都市と農山村の地域づくり全般を扱っています。

2年 しゅんたろう

このコースを選んだ理由は？



環境問題について、高校生の時に政治経済を勉強した際に学んだので、その経験を活かして人環で環境問題を地域社会と絡めながら学んでいきたいと思い、このコースを選択しました。

お気に入りの授業を教えてください！

授業：NPO・ボランティア論

教員：新田 英理子先生

実際にNPOでの活動をしている人達の話や、活動に関連するSDGsの項目について学ぶことができました。

☆小島ゼミ☆ 担当教員：小島 聡先生 テーマ「持続可能な地域社会の創造」

【内容】

「持続可能な地域社会の創造」をテーマに、主にまちづくり・地域創生について学んでいます。長野県飯山市を筆頭に、神奈川県横須賀市や千葉県香取市佐原など、様々な地域と協働しています。また最近では、SDGsやアフターコロナ時代を意識した取り組みとして、地域住民・企業・若者などにそれぞれどのようなことが求められるかを、文献講読やグループワークを通して学んでいます。



【私が感じるゼミの魅力】

小島ゼミでは「現場での学び」を重視しており、コロナ禍で現地に行くことが難しい中でも、Zoomなどの遠隔システムを用いて現地の方々との交流を続けています。現地の方々の「生の声」を直接聞くことで、自分たちで考えたり調べたりするだけでは分からないたくさんの学びを得られます。また、自分の興味・関心のあるテーマを設定する個人研究は、年に2回あるプレゼンを通して「2年次から積極的に取り組むことができます」。自分で研究したいテーマが決まっている！という方にも、小島ゼミはピッタリだと思います！

グローバル・サステナビリティコース



地球温暖化や貧困問題など、地球規模の環境問題をグローバルな視点で考えるコースです。学際的な学びとグローバル体験を通して、国際社会の動向について基本的な知識を身に付けます。国境を越えた思考力を養い、「グローバル人材」を育成することを目指します。

3年 ひろえ

このコースを選んだ理由は？



私は国際的なことに興味があり、特に途上国の問題のような、日本とは異なる背景や文化のある国で起こる問題に興味があります。持続可能性を軸に国際的な問題を中心に学んでいくことができる点に魅力を感じて、このコースを選びました。

お気に入りの授業を教えてください！

授業：途上国経済論Ⅰ・Ⅱ

たけさだなるひこ
教員：武貞総彦 先生

途上国の歴史や将来のことを考える良い機会となりました。歴史的な背景から学ぶことの重要性を感じました。

☆永野ゼミ☆ 担当教員：ながのひでお 先生 テーマ：「外国企業の英文CSR報告書を読む」

【内容】

外国企業の英文 CSR 報告書をもとに、CSR 研究を行っています。企業のCSR報告書を和訳し、発表することが主な活動内容です。学生主体のサブゼミでは、スピーチやディベート、ディスカッションを行い、ジャパントイムズを読んでいます。ゼミで勉強する内容は多いですが、卒業生からは「人生を変えたゼミ」と言われ、有数の企業への就職実績があります。



【私が感じる私の魅力】

永野ゼミでは、縦と横のつながりができます。上の学年が下の学年に対して指導を行うため、3年生は2年生の課題の添削を、4年生は3年生に就職指導を行います。また、卒業生から就職指導を受ける機会や、意見交換会が年6回ほどあり、永野ゼミで学び、実際に社会で活躍されている方々からお話を聞くことができます。学生のうちからこのような経験ができることは非常に貴重であると思います。先輩方は皆尊敬できる方々ばかりで、言葉遣いをはじめとする社会人としてのマナーなど、多くのことを学ぶことができます。

人間文化コース



人類が持続可能な社会に向かうための根幹は、数字では表すことができない価値観、幸福感や死生観といった「人間の意思」です。思想・哲学、歴史学、人類学など人文科学をベースに、将来の人間や文化の行方について探究します。

2年 えーと

このコースを選んだ理由は？



多くの授業を受けていく中で、人の価値観と文化について興味が持ちました。死生観や幸福感を思想や哲学、宗教など幅広い分野から研究することで、私たちの文化の変遷をたどり、未来の文化の行方について考えたいと思ったからです。

お気に入りの授業を教えてください！

授業：現代社会論Ⅱ

教員：佐伯 英子先生

教育や家族、労働など社会の様々な側面をジェンダーの観点から考えることで、視野を広げることができました。

☆佐伯ゼミ☆ 担当教員：佐伯 英子先生 テーマ「身体と医療の社会学」

【内容】

身体や医療、多様性などのテーマに関する文献や資料を読み込み、発表やグループディスカッションを行っています。また個人研究は、それぞれが興味を持った社会問題について調べ上げているので、人によってテーマが異なっていて面白いです。2021年度春学期はジェンダーをテーマとして学んでおり、ゼミの最初の時間に担当の人がそのテーマに関する記事を発表し、その後グループで議論を深めます。



【私が感じるゼミの魅力】

ゼミの特徴は比較的少人数で、先生と学生の距離が近いことだと思います。まだ設立からの歴史が浅いのも特徴の一つです。このゼミではグループディスカッションの機会が多く、その中で自分の発言力を身に付けることもできます。またそれぞれの個人研究を通して自分の興味分野への学びを深めることができ、さらに他の人たちの個人研究の発表から知見を増やすことができる点も大きな魅力だと考えています。

環境サイエンスコース



3年 もも



このコースを選んだ理由は？

元々ゴミ問題に興味があり当学部を志望していたので、主に環境問題を学べるこのコースを選択しました。制度や法律的な部分をはじめ、文系的なアプローチで環境問題の理解を深められるところが決め手です。

お気に入りの授業を教えてください！

授業：気候変動論Ⅰ

教員：まつもと 松本 ともあき 倫明先生

この講義では、主に気候変動や地球温暖化の科学的な知識を分かりやすく学べます。1年生から受講できる授業なので、環境問題に関する知識の土台を作れると思います。

☆松本ゼミ☆ 担当教員：まつもと 松本 ともあき 倫明先生 テーマ「地球温暖化とその周辺」

【内容】

活動は主に、環境速報、グループワーク、個人研究です。扱うテーマは環境問題全般です。今年度は「プラスチック資源循環戦略小委員会」などを基にグループワークを行っています。また課外活動として、学校周辺の放射線量測定や、環境イベントの見学、合宿もあります(現在は自粛)。環境課題に関する知識の蓄積と、社会の動向に触れることができるゼミです。



【私が感じるゼミの魅力】

一番の売りは環境問題への知識を増やせることだと思います。先ほど挙げた「環境速報」は、ゼミ生が興味を持った任意の環境ニュースを発表・質問し合う活動です。これにより参加者は、自分の手の届かなかった興味関心分野から、環境に関する情報に触れられます。持続可能な社会の構築には、各コミュニティに合わせた提案や発想が必要ですが、このゼミで学んだことはそのアイディアを出す材料になると思います！

人環の特色ある授業

人間環境セミナー

人間環境セミナーは、学期ごとにテーマを設定し、企業、自治体、NPO、研究機関、文化活動団体など現場の第一線で活躍する専門家の方々を招いて、講演をしていただく授業です。毎回異なる現場の方にお越しいただき、最新の情報や豊富な経験に基づく講義を聴くことができます。いま何が問題とされ、解決のためにどのような取り組みが行われているかを学んでいます。

2021 年度春のテーマ：「都市の持続可能性」

環境問題を各人が自分事として捉えるには、問題に対する個々の考えや感覚を養ったうえで、ローカルで身近な範囲で行動し、さらに視野を広げてグローバルに考えることが必須です。そこで、まずは身近な都市を持続可能とするために必要な要素について、多様な事例と、過去・現在・未来の空間軸から考察します。



3年 はこ



印象に残った授業

「都市と公園～公園の SDGs の取り組み～」

従来の遊ぶための公園ではなく、生物多様性や福祉、環境負荷軽減、防災など、SDGs の要素が盛り込まれた公園の事例を学びました。初めて知る、公園での多様な取り組みに驚きました。「誰ひとり取り残さない」の実現のために公園などの公共空間を利活用し、人々をつなげる場とした上で地域を持続可能とすることが今後必須だと学びました。



次学期のテーマ：「持続可能な開発目標（SDGs）と私たちー2030年とその先を自分事化する」
2020 年度のテーマ：

- ・「災害の時代を生き抜く実践知」
- ・「食と健康」
- ・「デジタル社会を考える」
- ・「フィールドスタディの現場から学ぶ地域環境・地域文化」



フィールドスタディ

HP の PDF 版も
合わせて
ご覧ください

フィールドスタディ（以下、FS）とは、人間環境学部の現地学習プログラムです。

実際に現地に足を運び、私たちが置かれている社会での問題や身の回りの自然環境を肌で感じられます。様々な体験を通して自らの問題意識を高めるという目的で設けられており、国内外合わせて毎年約 20 コースが開講されています。1 年次から参加することが可能です。長期休みに開催されます。（※2021 年度の夏休みはコロナの影響で休講です。）

ウィズ・コロナ・国内編①

3 年 みきの



「自然を生かした都市の“グリーンインフラ”を考える」

・実施期間：2020 年 10 月～2021 年 3 月

（事前学習 2 回、現地調査 2 回、報告会 2 回）

・実施場所：事前学習・報告会…Zoom

現地学習…各自フィールドを決めて現地学習

（自宅の周辺地域にある公園緑地、河川など）

・参加人数：15 名

【内容】

従来のコンクリート主体のグレーインフラ（防災など）に対して、自然のもつ機能を活かしたインフラづくりをグリーンインフラと言い、その役割と効果が世界で注目されています。この FS では、都市における植物・土・湿地等の役割を再認識するとともに、それを活かした機能的なまちづくりを構築する力を補います。

【学んだこと】

グリーンインフラは、グレーインフラにはない良さがたくさんあります。例えば、緑は人々に癒し効果を与えたり、四季を感じさせたりすることができます。また、湿地帯や公園は生き物の生息地になり、生態系を守る効果があります。堤防などのグレーインフラももちろん必要ですが、グリーンインフラが増えれば都市の緑地面積を増やすことができ、人々にとって緑がより身近なものになると感じました。

【参加してみたの感想】

オンラインで開催された FS でしたが、グリーンインフラの最前線で活躍されている先生のお話を聞けたり、グループワークの時間がたくさん設けられたりしていたので、従来の FS に引けを取らない充実した学びだったと思います。グリーンインフラは大きな可能性を秘めているので、今後も注目していきたいと思います！

【オンラインならではのメリット・現地 FS との違い】

グリーンインフラ FS では、自分でフィールドを決めるということで、地元の魅力を再認識する機会になりました。また、時間を気にすることなくじっくりと調査できたのも良かったです。その一方で FS に参加している他の学生さんや先生と直接交流ができないのは、現地 FS との大きな違いだと思いました。

ウィズ・コロナ・国内編②



3年 さく



「ミュージアムにおける展示と対話を探求しよう」

・実施期間：2020年12月19日～2021年3月9日

(そのうち各自日帰りで3回)

・実施場所：各自で選んだミュージアム3カ所

(板橋区立美術館、サンシャイン水族館、国立歴史民俗博物館を訪問)

・参加人数：15名

【内容】

芸術系、自然系、社会系それぞれ1つずつ、計3カ所のミュージアムを選び訪問します。ただ展示物を鑑賞するのではなく「対話」がテーマであるため、訪問者同士の会話や気づき、客層、照明使いや順路などの展示方法の工夫について細かく観察します。

【学んだこと】

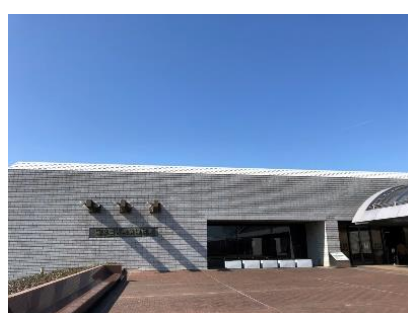
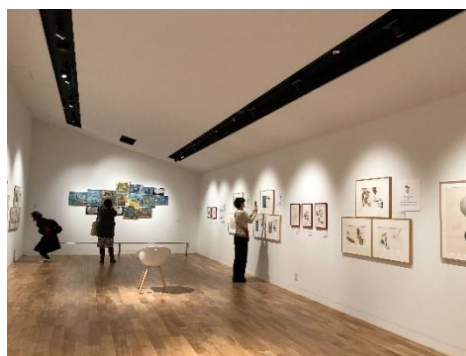
展示されているものごとを鵜呑みにするのではなく、誰の目線で語られているか、何を取り上げられ何が排除されているか、どのようにカテゴライズされているかを考えることで、そのミュージアムの伝えたいことが見えてくると感じました。

【参加してみたの感想】

1人で長い時間をかけ、かつ展示物ではなく様々な「対話」に注目してミュージアムを回することは初めてでした。しかし、友人や家族と行く時には会話に夢中になり気付かないような点にも目を向けることができ、実りのある楽しいFSでした。

【オンラインならではのメリット・現地FSとの違い】

皆が異なる場所に訪問するFSのため、同系統の異なるミュージアムに訪問した人との意見交換ができました。例えば、すみだ水族館とサンシャイン水族館では、コンセプトや立地の活かし方など、全く異なる空間を演出していることが分かりました。



ウィズ・コロナ・海外編

3年 あみ



「国際平和の追求」

- ・実施期間：2019年11月～2020年7月
- ・実施場所：Zoom（事前学習のみ対面）
- ・参加人数：31名

【内容】

コロナでなければ、一週間かけてドイツにあるノイエングアンメ強制収容所と国際海洋裁判所、オランダにあるアンネ・フランクの隠れ家と国際司法裁判所（ICJ）、国際刑事裁判所、国際協力機構（JICA）のフランス事務所、パリにある国際連合教育科学文化機関（UNESCO）の本部に行く予定でした。事前学習では、それらの予備知識を蓄えるために6つの班に分かれて研究、発表を行いました。オンライン学習では、ICJ、JICA、UNESCOで働く日本人の方とzoomでつながり、現在の課題について詳しい説明を聞き、解決方法を考えました。また、アムステルダム国立美術館のヴァーチャル・ミュージアムを訪れ、コロナ禍でも芸術鑑賞を楽しむことができました。

【学んだこと】

オンライン学習では、UNESCO内での日本の立ち位置や国際機関で働く上で必要なこと、世界遺産を選定する上での問題点など普段の授業では聞けないようなことを学びました。また、JICAが行う途上国への援助の仕組みを聞き、目的がバラバラな国々を「国際平和の実現」という同じ目的に向けてまとめる難しさを実感したとともに、**国際機関の重要性**を再認識しました。

【参加してみたの感想】

実際に現地に行くことはできず非常に残念でしたが、対面で行った事前学習で幅広い学びができました。また、現地に行けなくても、現地で働く方々のお話を聞いたことは非常に貴重な経験でした。コロナが収まったらこのFSでの経験を活かし、五感を使って再び「国際平和」について考えたいです。

【2019年度FSプログラム実施例】

- ・障がい者福祉の体験（群馬県安中市）
- ・陸・海・空・宇の交通運輸を支える（東京都、茨城県、千葉県）
- ・津軽鉄道でむすぶまちづくり（青森県）
- ・行政による生活と安全の確保（東京都、神奈川県）
- ・歴史的環境保全のまちづくりを学ぶ（東京都、神奈川県、静岡県）
- ・ビジネスヒストリーから学ぶSDGs（愛媛県、岡山県）
- ・環境・福祉・文化のサステナビリティとハワイアンスタディーズ（ハワイ）

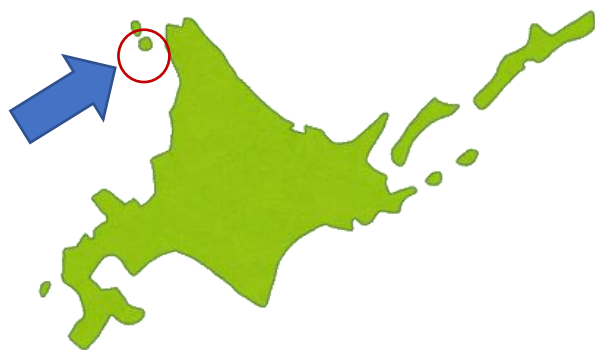
＊海外FS奨励金制度

上限は約7～9万円（海外FSにかかる研修費等の50%まで）



現地・国内編①

ココ！



4年 つよし



「国立公園の魅力とそれを支える地域活動」

- ・実施期間：2019年9月2日～6日
- ・実施場所：北海道 ^{リシリレブン} 利尻礼文サロベツ国立公園
- ・参加人数：29名

【内容】

国立公園の優れた自然にふれるとともに、環境保全や産業振興に取り組む人々の活動現場を訪ね、自然の魅力を支える地域社会の在り方について学びます。環境省の自然保護官や現地住民の方へのヒアリング、外来種駆除のボランティア活動やウニ採り体験への参加など、東京ではできない貴重な体験がたくさんできるプログラムです。

【学んだこと】

「国立公園における自然環境の保護・開発」という問題は、地域の経済や生態系、文化、国の政策など、たくさんの要素が絡み合った複雑な問題であることを学びました。現地での様々な経験を通じて、「人は自然とどのように関わっていくべきなのか」という事について、深く考えるきっかけとなりました。

【参加してみたの感想】

現地を訪れて自分自身で経験する事の大切さを感じました。北海道の大自然の素晴らしさも、その環境を守る意義も、自然と共に生きる人々の苦悩や喜びも、全ては実際に現地を訪れたからこそ感じられたことだったと思います。「現地を訪れる」、「経験する」という事を大切に、これからの研究活動に励んでいきたいと思っています。



現地・国内編②

3年 ばばちゃん



「文化継承と文学的表象のあり方とは？」

一金沢の街並み保存と石川県の風景表象・文化」

・実施期間：2019年9月10日～13日

・実施場所：石川県金沢市・輪島市

・参加人数：10名

【内容】

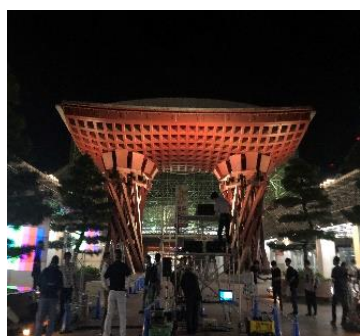
石川県の金沢市・輪島市を訪れて、様々な文化継承に触れます。目的は3つあります。まず1つ目は、金沢町家や職人大学校を訪れて、街並みの保存や技術の継承について学ぶことです。2つ目は、金沢の文学作品の表象が、実際の金沢の風景とどのような違いがあるのかを知ったうえで、文字芸術の将来を見つめ直すことです。3つ目は、能登半島の輪島市に移動して、白米千枚田や石川県漆芸美術館を訪れ、「伝統と暮らし」という観点から文化を学ぶことです。

【学んだこと】

金沢の街並みや、輪島の伝統・暮らしに触れてみて、文化継承の困難さを改めて痛感しました。継承に直接携わっている人たちだけでなく、市民自身も文化継承の重要な当事者であることも知りました。また、21世紀美術館を訪れて、伝統文化に現代美術を取り入れることで、新しい文化の創造を行っているという意外な一面も垣間見ることができました。

【参加してみたの感想】

北陸最大の観光地である金沢の華やかな面しか見ていませんでしたが、街並み保存や技術の継承の難しさといった、単なる旅行では決して知り得ないような、もう一つの金沢の在り方を学ぶことができました。今まで守り抜かれてきた文化を、後世にも伝えていこうと努力している人々の熱意にたくさん触れて、温かな気持ちになったFSでした。



キャリアチャレンジ

キャリアチャレンジ（以下、CC）とは、人間環境学部が独自に連携する自治体や NPO 等の団体で行う実習型のプログラムです。課題を見つけるところから解決に向けて、人環の学びをフルに使って経験できるのがこのプログラムの魅力です。参加者が互いの学びの軸を持ち寄って学ぶことができます。長期休みに開催されます。（※2021 年度の夏休みはコロナの影響で休講です。）

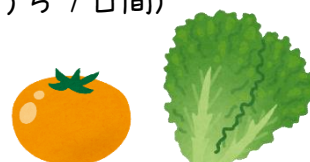
ウィズ・コロナ編

3 年 さえ



「首都圏の生活クラブ生協を通して協同組合の実践を学ぶ」

- ・ 実施期間：2021 年 1 月～3 月（そのうち 7 日間）
- ・ 実施場所：オンライン
- ・ 参加人数：6 名



【内容】

生活クラブ生協を通じて、非営利、協同セクターの現在を学びました。食、農、エネルギー、福祉、労働などの実践について動画視聴や職員の方の講義を受けました。また、職員研修、生産者交流会、学習会にも参加させていただきました。

【学んだこと】

新型コロナウイルスの流行によって、グローバル経済ではなく、地域経済が重要視されるべきだということを学びました。そのために必要な地域のつながりをつくるために生活クラブ生協はさまざまな活動を行っており、具体的な活動内容について、また、これまでの歴史についても学ぶことができました。

【参加してみたの感想】

このような状況の中、生活クラブ生協がどのような活動をしているかについて現場の方から学ぶことができたことに感謝しています。しかし、オンライン開催であったため、生活クラブ生協の組合員の方や職員の方と一度もお会いすることなく終了してしまったことが残念です。

【オンラインならではのメリット・現地 CC との違い】

メリットは、本来であれば他の県の活動に参加することはできませんでしたが、オンラインであるため参加しやすかったことです。さらに、現地に行くよりもより学習が多くなり、かなり濃い内容を学べたと思います。



4年 ももこ



「川崎市中原区武蔵小杉における

都市のサステナビリティとコミュニティ政策研修」

- ・実施期間：2019年8月21日～9月3日（10日間）
- ・実施場所：川崎市中原区役所 地域振興課
- ・参加人数：4名



【内容】

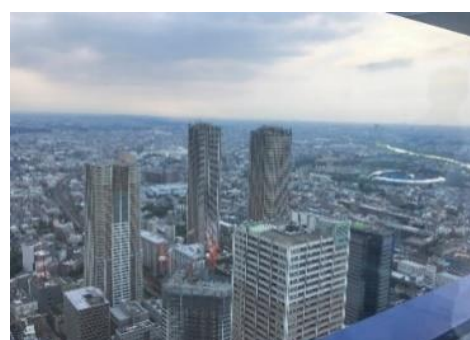
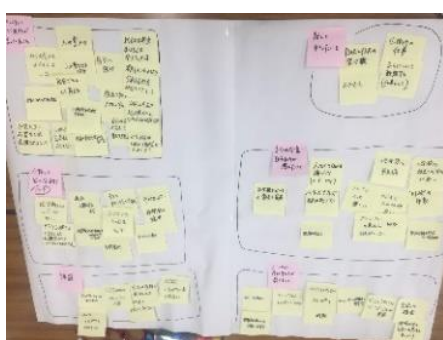
「現場に出て学生目線で小杉を知り、持続可能な地域の形成に向けて課題解決を目指すこと」がこのプログラムのミッションで、地域で活躍する8名の方へのインタビューやまち歩きを行いました。小杉のまちが抱える課題を踏まえ、解決に導くためにどんな取り組みが必要か分析し、区長さんに向けて発表を行いました。

【学んだこと】

まちづくりにおけるコミュニティの必要性を改めて学ぶことができました。今回インタビューさせて頂いた方々は、様々な立場ながら、自分の強みを活かしてそれぞれのコミュニティを形成していました。地域に暮らす人々が“自分の暮らすまちを共に形成している一員”として互いを捉えることで、より良い地域が生まれるのだと考えます。

【参加してみての感想】

拠点となっていた区役所から毎日まちに出て、お話を聞いたり活動のお手伝いをしたりするうちに、ここの住民ではないものの、“まちに愛着を持つこと”を実感しました。地域で活躍する社会人の方にお話を聞いたこと、そして仕事に対する姿勢をこんなに近くで見ることが出来たのは、このプログラムならではの感想です。



SA プログラム



SA (Study Abroad) は人間環境学部独自の留学プログラムです。ホームステイをしながら、オーストラリアのゴールドコーストにあるボンド大学付属語学学校にて、英語の授業を集中的に 15 週間受講します。現地の大学の授業を受けられる英語力を身につけること、同じ学校に留学している様々な国の学生との交流を通して異文化への理解を深めることを目指しています。

☆誰でも参加できるの？

参加を希望する学生（留学時 2～4 年）のうち学部内での書類・面接審査を経て、10 名程度が参加を許可されます。

☆費用はどれくらいかかるの？

総額 100 万円前後になっています。参加費用の 3 割（30 万円程度）が支給される奨学金制度があります。

※今年度の開催予定はありません。

4 年 はやし



【学んだこと】

SA では、自分の視野を広げる経験ができました。特にボンド大学での授業は英語を学ぶだけでなく、クラスメイトとの異文化交流の機会でもあり、多くの発見や学びがありました。またホームステイではオーストラリアの生の生活を体験することができ、文化の違いを直接学ぶことができました。

【参加してみたの感想】

ホストファミリーやクラスメイトと話す中で英語力向上はもちろん、様々な文化や考えを知ることができ、多くの学びにつながったと思います。また授業以外でも色々な土地に足を運んだことは、新しい自分の発見にもなりました。SA での生活では、一生に一度の忘れられない沢山の経験を得ることができたと感じています。

4 年 かなえ

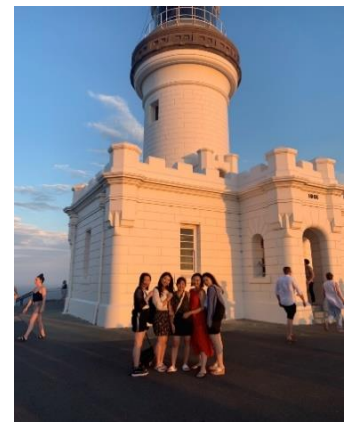


【学んだこと】

語学力の向上はもちろんのこと、人との関わりの中で多角的な視点で物事を捉えられるようになりました。授業内容は主に語学的に英語を学ぶものでしたが、Essay や Summary を書く事、Presentation の準備を通して、「人に伝える」ことの難しさを学びました。この経験から、帰国後も社会の一員として、人間力が一段と向上したと実感しました。

【参加してみたの感想】

ボンド大学は同じキャンパス内に、語学留学生だけでなく学部生や院生がいるので、彼らと仲良くなる事で沢山の価値観を共有することができました。バックグラウンドの違う友人達に囲まれて過ごす時間は意外にも心地よく、彼らと出会えたからこそ、日本での生活でも家族や友人を大切に、より幸せを感じながら日々を過ごしています！



SCOPE

SCOPE (Sustainability Co-creation Programme) は2016年9月に人間環境学部開設された、すべての授業を英語で行い、英語で学ぶプログラムです。人間環境学部生（日本語課程の学生）も参加することができます。

※授業によっては、英語力の基準を満たさなければ受講できないものもあります。

※SCOPEには、外国人留学生だけでなく、日本人学生も入学できます。英語資格試験と志望理由書などにより審査する自己推薦入試（9月入学）を実施しています。

4年 れおな



印象に残った授業：Human and Environment

この授業では先生による講義だけでなくパネルディスカッションも行います。各グループに分かれ、SDGsとの関わり方から人と動物の関係性まで幅広いテーマを設定しています。自身の考えを英語で伝えることは簡単ではありませんが、多様な国籍を持つ学生が集うからこそ周囲から多くの刺激を受けられる点がSCOPE科目の魅力です！

トニカン



人間環境学部特別セミナー「とにかく考えてみよう（略称トニカン）」は、ドキュメンタリー映画を観て参加者が議論を展開する、教職員と学生の共同企画です。年2回開講されています。

2020年度は、ヘレナ・ノーバーグ=ホッジら監督『幸せの経済学』を視聴しました。グローバル化した現代社会の負の側面を明らかにし、「ローカリゼーション」の価値を再考しているこの映画を踏まえて、様々なテーマを掲げ、オンライン上で活発な議論を交わしました。

人環生の1週間



プロフィール

【名前】 なお

【学年】 1年

【通学時間】 1時間

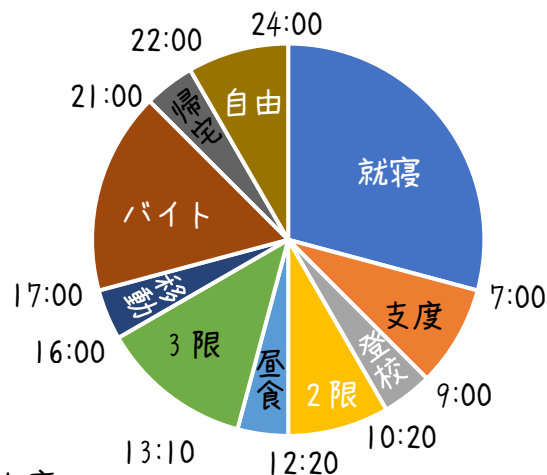
【サークル】

ボランティア

旅ランサークル

【アルバイト】 ベーグルのお店

1日のスケジュール



	月	火	水	木	金	土
1限	中国語Ⅰ			English2		教養数学A
2限	EnglishⅠ	現代企業論	人間環境学への招待	中国語2	キャリアデザイン入門	
3限	スポーツ総合演習				現代社会論Ⅰ	
4限		社会学Ⅰ			国際経済協力論Ⅰ	
5限	情報処理基礎				宗教論	
6限						

【高校と大学の違いは?】

高校でのコミュニティという、ほとんどの人がクラスや部活くらいだと思いますが、大学では自分が行動すればするほど多方面での繋がりを増やすことができます。とにかく楽しく、そして気が付いた時には多忙になりがちなので、今まで以上に自己管理能力が必要だなと感じます。

【休みの日はどう過ごす?】

1年生の平日の午後は授業やサークル、バイトであまり余裕がないので、土日は体を休めるか友達と遊ぶことが多いです。授業理解や課題を極力溜めたくないの、予定が詰まっていた週でも土日リセットさせて、次の週に持ち込まないように気を付けています。

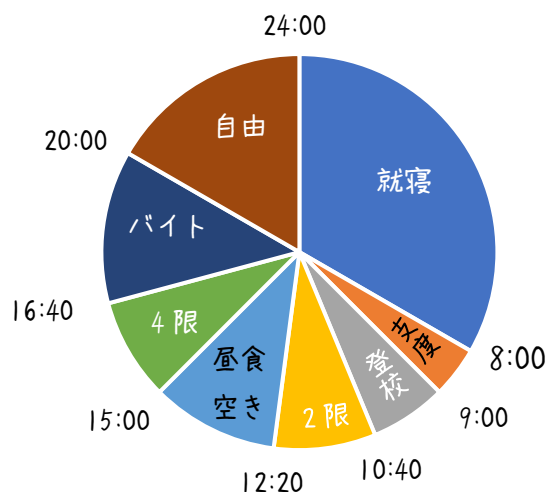
人環生の1週間



プロフィール

【名前】 すみれ
 【学年】 2年
 【通学時間】 1時間
 【サークル】 なし
 【アルバイト】 カフェ

1日のスケジュール



	月	火	水	木	金	土
1限				現代 社会論Ⅲ		
2限		地域 経済論Ⅰ				
3限			倫理学Ⅰ		小島Aゼミ	
4限		自治体環境 政策論Ⅰ	日本文学と 文化LG	地方自治論	サブゼミ	
5限			ドイツ語Ⅲ	災害政策論		
6限						

【高校と大学の違いは?】

高校はほとんどの場合、朝から放課後までクラス単位で同じ授業を受けますが、大学の授業は自分の受けたい授業を選んで受けることができます。また自由度が高く、自分のために使うことのできる時間が多いため、色々な事に挑戦できます。

【休みの日はどう過ごす?】

休みの日は、課題をやったりアルバイトをしたりして過ごすことが多いです。また、友達と遊びに行くこともあります。大学生はとにかく自由に使える時間が多いので、休みの日を充実させることができるようにしています。

受験体験談



一般入試C方式
2年 りさこ

☆高校時代どのように過ごしていたか

演劇部に所属していて、役者、裏方、演出など色々やりました！引退するまではほぼ毎日部活をしていました。

☆受験科目の勉強方法

英語：音声を聞きながら英単語を毎日20分ほどやり、文法や語法をまとめた参考書を登下校の時間に読むようにしていました。

国語：漢字と古文単語を一日10分ほどやるようにしていました。また古文の助動詞の活用形を替え歌で覚えていました。

数学：途中計算まで詳しく書かれている問題集を利用し、演習問題と時間を計って過去問をやりました。

☆受験科目 ☆平日・休日の勉強時間

- ・国語・数学（ⅠA、ⅡB） 平日：2～3時間
- ・英語・地理B 休日：9～10時間
- ・物理基礎・化学基礎

☆自分なりの勉強法

登下校などの隙間時間に少しでも勉強できるように、英単語や古文単語を勉強できるアプリを入れて勉強していました。

☆モチベーションの保ち方

友達と勉強時間を記録し共有することができるアプリを入れて、互いの勉強量を意識し、対抗意識を燃やして保っていました。

☆夏休み以降の過ごし方

夏休みにどの教科も基礎を定着させるようにしたので、夏休み以降は苦手な単元や過去問を中心に勉強し、問題形式に慣れるようにたくさん解きました。

☆人環に入った決め手

学びたいことがしっかり定まっていなくても良い点と、フィールドワークができる点に惹かれました。

☆受験期の感想、受験生へ

私はとにかく勉強する習慣がなかったので習慣化できるように勉強時間を記録したり、漢字や単語といった勉強からやるようにしたりしていました。自分にあったやり方を見つけることで勉強がしやすくなると思います。自分を信じて頑張ってください！



受験体験談



自己推薦入試
1年 たかひろ

☆受験科目

〈一次〉 〈二次〉
・調査書 ・筆記試験(英語、小論文)
・志望理由書 ・面接

☆高校時代どのように過ごしていたか

高校時代は、鹿児島県の市町村が主催する中高生向け政策提言プロジェクトに参加していました。また理科部に所属し、生物採取やプログラミングをしていました。

☆自分なりの勉強法

これまでの経験だけで勝負したいと思っていたので英語以外の勉強はしませんでした。ただ、丁寧な言葉遣いと綺麗な字を早く書くことは常に意識していました。

☆夏休み以降の過ごし方

高3の8月まで一般受験の勉強をしていたので、自己推薦の対策を始めたのは8月下旬です。具体的には、志望理由書づくりと英語の勉強をしていました。

☆人環に入った決め手・やりたいと思ったこと

僕は高校生の時、鹿児島県での政策提言プロジェクトに参加した経験から「農山漁村における農林水産業と自然環境・観光を用いた循環型地域づくり」を大学で勉強・研究したいと考えていました。そこで観光学部と総合政策学部を中心に調べ、中でも「持続可能な社会の構築」・「自然環境」・「地域づくり」について詳しく学べる法政大学人間環境学部を選びました。

☆志望理由書について

高校での課外活動の経験を交えながら自分が感じている社会・地域課題や地域づくりへの持論と、人環で具体的に何を学び、どのような仕事に就くのかなどのキャリアデザインを2,000字で論じました。



☆受験期の感想、受験生へ

受験期は将来のことが不安で眠れない日も多々ありましたが、プレッシャーとの戦いがあったからこそ僕は慢心せず最後まで頑張ることができたのだと思っています。受験生の皆さんも最後まで頑張ってください！応援しています！

受験体験談



がんばれ
受験生!

指定校推薦入試
1年 ぶんぶん

☆受験科目

- ・ 志願理由書⇒1200 字
- ・ 小レポート

☆高校時代どのように過ごしていたか

文武両道を目標にしていました。毎日の部活動の後、できるだけ塾に通い、学習する習慣を身に付けました。

☆テスト前の過ごし方、勉強法

2週間前から取り組みました。

不得意科目を先に勉強し、その後得意科目をやりました。また問題集を何度も解き直しました。

☆夏休み以降の過ごし方

毎日塾に通いました。

過去問を始める日を設定し、計画的に勉強していました。

☆人環を志望した理由

コミュニケーションを軸に幅広く学べると思ったからです。国際関係、異文化、政治などについて学ぶことで、自分の軸を深め、多角的に物事を考えられる人になりたいと思いました。また、現地学習があるため、五感で土地を感じ、様々な人と関わりたいと思い志望しました。

☆志望理由書に書いたこと

最初に、自分の長所を述べました。それから、人環で自分の長所をどのように活かし、何を学んで、どんな人材になって社会に出たいかを具体的に述べました。



☆受験期の感想、受験生へ

真面目に何かに取り組む。これは立派な才能です。

今、勉強を真面目に頑張れば楽しい未来が待っています。辛い時期もあると思いますが、そんな時は自分の夢、目標を思い出してください。きっと、力が湧いて来るはずです。最後まで頑張ってください！



人環生の将来



人環で学んだことや現在のお仕事について、学部を卒業された2人の先輩方にお話を伺いました！



Rさん（2020年卒）
学生時代の学びのテーマ
…持続可能な地域社会

【現在のお仕事について】

専門商社で総務事務をしています。業務は社員の働く環境を整えることから社内外の広報まで様々です。今はSDGs・CSR（企業の社会的責任）関連の業務に力を入れており、活動と意識を社内に浸透させることが目標です。

【人環を志望する受験生へ】

様々な分野を学べるので、自分の視野・興味を広げることができました。SDGsやESG（環境や社会を考慮した投資）など”旬なテーマ”を学べたことは現在に活かしています。まだ、やりたいことがなくても問題なし！少しずつ興味を見つけていきましょう！

学生時代に頑張っていたことは？

ゼミ活動です。個人研究、文献講読、夏合宿（現地調査）、調査報告書作成など、忙しくもやりがいがありました。



🍉 夏合宿での集合写真 🍉



ゆうなさん（2021年卒）
学生時代の学びのテーマ
…ドイツの歴史、思想史、哲学

【現在のお仕事について】

除雪機・農機具等製造の会社です。現在、商品開発部に所属しています。将来、日本国内外で働きたいと考え、志望しました。仕事内容は、試作品をスケッチして、パソコンで図面を書いています。

【人環を志望する受験生へ】

入学時に学びたかった事、卒論のテーマ、会社に必要な能力等、私は全て直結するものではありませんでした。しかし、現在の生活の中でいろんな繋がりを感じています。目の前にある興味や関心を大切に！応援しています！

学生時代に頑張っていたことは？

卒業論文です。本を何度も読み、文章を精査して納得がいくものを完成させました。これは自分の自信となっています。



😊 ゼミのメンバーと 😊

人環生の軌跡

人環での学びや4年間の経験について、人環企画の4年生にインタビューしました！



(写真左から)

1年 ぶんぶん・2年 すみれ

4年 ももこ・4年 つよし

3年 はる

撮影…1年 たかひろ



はる：「人環を選んで良かったことを教えてください！」

ももこ：「高校生の時に都市やまちづくりになんとなく興味があって、人環を選びました。

この学部ではまちづくりを学問として多角的に学ぶことができ、自分なりのまちの見方を見つけることができました。“自分の専門は〇〇学”と言えないほど広く学べたことは、大きな財産になりました。」

つよし：「元々環境問題に興味はあったのですが、本当に勉強できるのか、実際に勉強したいことなのか分からないまま入学しました。しかし、人環では自分が勉強したいこと、また今後どういう大人になりたいかゆっくり考える機会を持つことができ、卒業後の進路決定の際に活かせたと思っています。人環の幅広い学びを活かすことができました。」

はる：「学部を選んだ時の気持ちはそれぞれ違ったけれど、お2人とも自分の学びを確立させることができたのですね！」

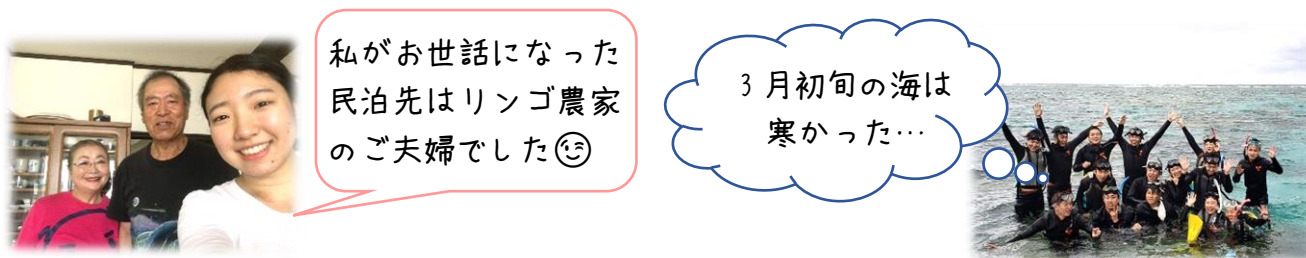


ぶんぶん：「現地学習では、どんなことが印象に残っていますか？」

ももこ：「私は1年生の春休みに『津軽鉄道でむすぶまちづくり（青森県五所川原市）』というフィールドスタディ（FS）に参加しました。現地で学びたいことを事前学習でまとめる機会があったため、現地の方に昔のまちの状況を聞いたり、自分の意見を共有したりすることができました。私はその時に見学したねぶたが動いている姿を見るために、半年後の夏にも旅行で五所川原を訪れました。老若男女問わず、まち全体で盛り上がり、伝統を守っている姿を見られて本当に嬉しかったです。また、民泊先の農家の方とは今でも年賀状のやりとりをしています！」

つよし：「僕も同じく1年生の春休みに参加した『石垣島・白保におけるサンゴ礁文化継承のとりくみを学ぶ』というFSが印象に残っています。沖縄というワードに惹かれたのが参加を決めたきっかけだったと思いますが、自然に実際に触れることでなぜ現地の方々が協力してサンゴ礁を守っているのか知ることができ、サンゴ礁が地域にとっていかに大切なものなのか、地元の方とのお話から学ぶことができました。普段東京で過ごしては得られない経験だったと思います。」

ぶんぶん：「人環はフィールドに出て学ぶことが1番の特徴ですよ！幅広い視点で学ぶことは、机上の学び以外でも様々な場所で活かせるのですね！」



すみれ：「それぞれが4年間で得られたものについて教えてください！」

ももこ：「大学生になって自分でコミュニティを広げられるようになってから、先輩後輩、アルバイト先など本当に色々な人とのつながりができたことが私の1番の宝です。やりたいことには何でもチャレンジしてみることが私の大学生活の目標だったのですが、思うように前に進めないことが何度もありました。しかし、その度に様々な人に助けられたなと感じています。」

つよし：「僕も、ゼミやサークル、オープンキャンパスの活動などで沢山の人の出会いがありました。色んな人と考え方や価値観を共有できたこと、そして自分にとって生きるものを見つけられたことはとても意義のあるものでした。また、FSで北海道の利尻島や沖縄県の石垣島を訪れたこと、学びを通じて人や地域と出会ったことも貴重な経験でした。」

すみれ：「法政大学は全国から学生が集まっています、今まで出会うことのなかった沢山の素敵な出会いがありますよね。」

つよし：「それから、僕は大学生になって初めて勉強が面白いと思えるようになりました。自分で何を勉強したいか探しながら学べるということは、人環の醍醐味でもあります。4年間を振り返ってみると、その過程が非常に楽しかったなと思います。」

すみれ：「持続可能な社会の構築に向けて自らの視点で問題を捉え、解決するためにどんな知識が必要か、学びのプランを組み立てることができるのですよね！」



Q & A



～人間環境学部での学びに関して、気になるあれこれをまとめました！～

持続可能性とは何ですか？

環境、経済、社会などが将来にわたって適切に維持、保全され、発展されることを言います。英語では sustainability (サステイナビリティ) と表します。人環では、100 年先の子どもたちも笑顔で暮らせる社会を構築することであると考えています。



資格は取得できますか？

人環では、図書館司書、学校図書館司書教諭、社会教育主事、博物館学芸員の資格を取得できる課程を設けています。また、社会科の科目に限定されますが、中学校と高等学校の教員免許の取得が可能です。これらの資格を活かすことのできる業種・業界で活躍する卒業生も多くいます。



他の類似学部との 学びの違いはなんですか？

法政の他学部と比べて、学ぶ内容はもちろん、学び方も自由にカスタマイズしやすい点が特徴です。「コース制」はあくまでも学びの軸なので、自分の学びに関連した授業を学問領域やコースの縛りにとらわれることなく、履修することができます。また、環境といっても扱う分野が幅広く、自然やまち、芸術、経済、世界情勢など、自分の周り全てが学びのフィールドとなります。

文系学部の人環に理系出身の 先生がいるのはなぜですか？

人環では環境問題を考えるにあたり、文理問わず様々な分野から見つめることを大切にしています。文系の学生でもわかりやすく、興味を持つことのできる授業が展開されています。天文学、環境科学、健康、エネルギーなどを専門とした先生が在籍しています。



英語力を磨きたいのですが、人環には どんなプログラムがありますか？

人環独自のプログラムとして、オーストラリアに留学する SA (P.19 参照) があります。また、SCOPE (P.20 参照) の授業を履修することで、様々な国の留学生とディスカッションを通し、英語で人環の学びを深めることができます。

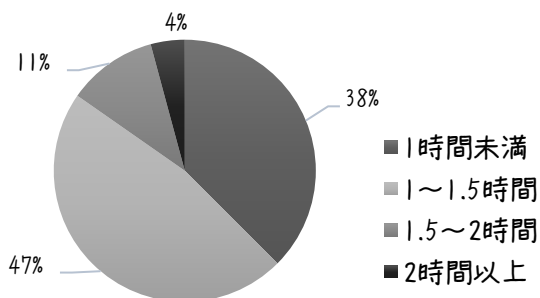


その他、気になることがありましたら
お気軽に教室にいるスタッフにお声がけください😊

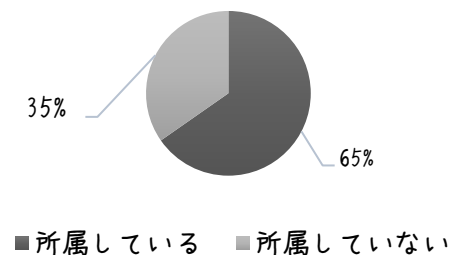
人環生に聞いてみた！

あなたが気になる人環生のあれこれを1年生10人、2年生25人、3年生19人、4年生18人、計72人にアンケートをしました！！

Q. 通学時間は片道どれくらい？



Q. サークルに所属している？

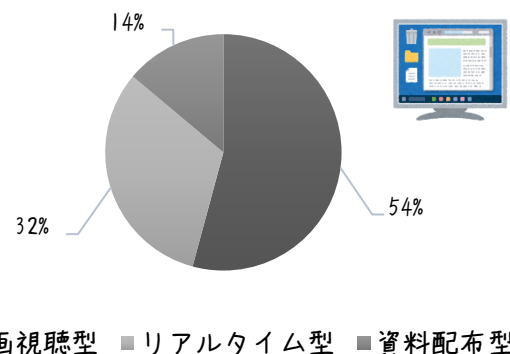


Q. どんなアルバイトをしている？

- ・塾講師
- ・カフェ(スタバなど)
- ・コンビニ
- ・書店
- ・カラオケ
- ・ジム
- ・結婚式場
- ・スーパーマーケット など



Q. 多かったオンライン授業の形態は？



Q. ズバリ！人環ってどんな学部？

- ・幅広い分野が学べる学部
- ・自由な学部
- ・自分のやりたいことが見つかる
- ・さまざまな視点から物事を考えられるようになる学部
- ・変化する自分の興味に応じて学ぶことができる など

Q. オンライン授業はどうだった？

- ・予定が組みやすい
- ・自由な時間が確保しやすい
- ・好きな時に授業を受けることができる
- ・通学時間がないのが嬉しい
- ・授業の復習がしやすい
- ・友達を作りにくい
- ・対面授業に比べて集中力が続かない
- ・課題が多いと感じた など

あなたの興味はどのコース？

人環の学びの特徴である「5コース制」。気になるコースは見つかりましたか？
それぞれのコースではどんなことを学んでいるのか、キーワードを通して見てみましょう😊
ここで登場するキーワードは、ほんの一部です！

サステイナブル経済・経営コース

企業 CSR・CSV エシカル消費
公害 GDP・GNP 金融
ミクロ・マクロ経済学 ESG投資
労働環境 大量消費 簿記
健康経営



ローカル・サステイナビリティコース

地域 行政 まちづくり
NPO 少子高齢化 観光
災害 福祉 コミュニティ
労働環境 都市暮らし
まち歩き

人間文化コース

哲学 コミュニケーション ジェンダー
思想 人の考え方・価値観 平和
福祉 エコツーリズム 芸術
伝統 健康 歴史学 異文化理解
宗教 倫理 マイノリティー

複数のコースに同じキーワードが入っているのはどうして？

…人環には多様な学び方・授業があるため、1つのキーワードでも捉え方が人それぞれだからです。

グローバル・サステイナビリティコース

国際問題 国際法 平和
格差 途上国 グローバリゼーション
NGO 貧困 国際協力
教育 社会開発 民族

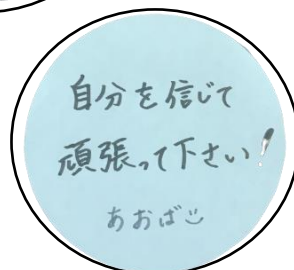
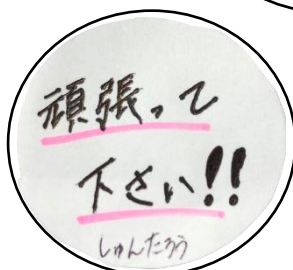
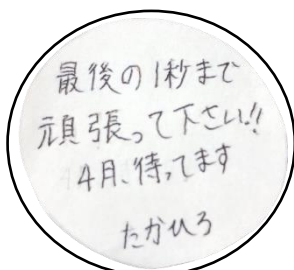
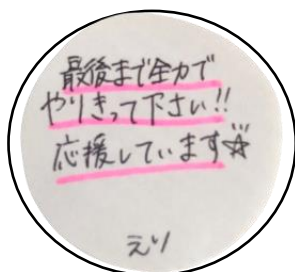
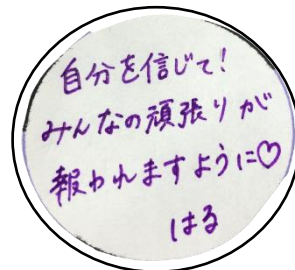
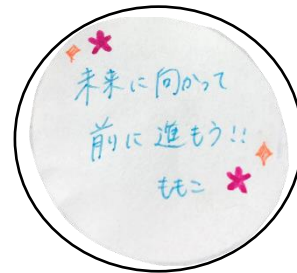
環境サイエンスコース

災害 エネルギー 生態学
気候変動 公害・公衆衛生
地形 健康 エコツーリズム
絶滅危惧種 自然と人間の共生

知らない言葉があったら
是非調べてみてください…！



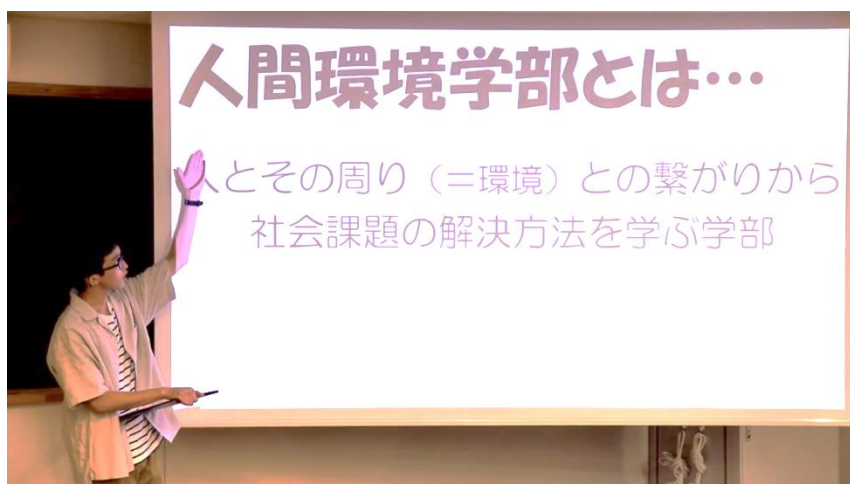
スタッフからの メッセージ



人環生
による

学部紹介動画

主に学部の概要について説明します。人間環境学部公式 YouTube で視聴できます。



トークショー

人環での学びや大学生生活など、学生の生の声をお伝えします。

人間環境学部公式 YouTube で視聴できます。



人間環境学部公式 YouTube

<https://www.youtube.com/channel/UCIf47HCWX8M7xXqkIjUUIZA>

人間環境学部ホームページ

<https://www.hosei.ac.jp/ningenkankyo/?auth=9abbb458a78210eb174f4bdd385bcf54>

人間環境学部入試情報サイト

https://nyushi.hosei.ac.jp/gakubu_gakka/ningenkankyo

人間環境学部公式 Twitter

https://twitter.com/hosei_jinkan

動画視聴は
こちらから！

